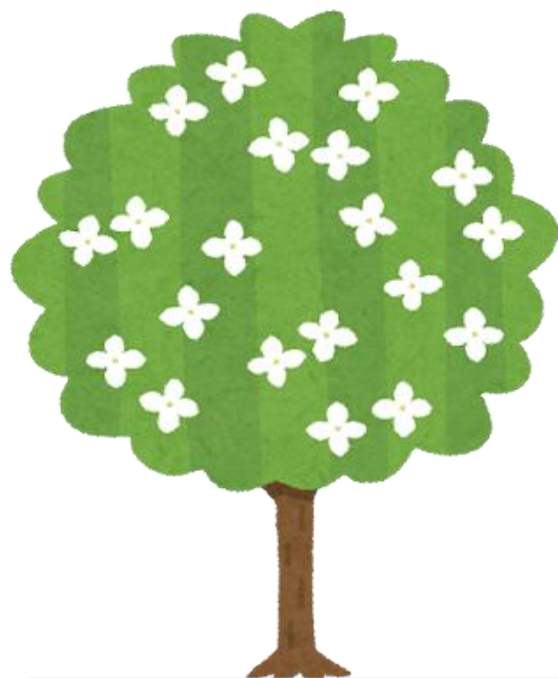

社会福祉法人 そよかぜの丘



2024年度事業報告

2025年5月27日（火）

◇◆重点方針◆◇

次の5つを重点方針として、具体的な施策に取り組んでまいりました。

1. サービスの充実を図ります
2. 地域福祉の推進を行います
3. 人材育成のための環境整備を行います
4. 運営基盤の安定に向けた取り組みの推進をします
5. 利用者の安心・安全な支援の徹底を図ります

◇◆重点施策◆◇

1. サービスの充実を図ります

(1) ご本人の希望する生活の実現に向けて取り組みます

ご本人の状況を丁寧に聞き取り、関係機関・地域活動の協力を得て、サービスの提供に努めました。

(2) ご本人を応援する支援チームを作り、サービスの質の向上を目指します

多職種で連携・共有し、チームでご本人の支援に取り組みました。

(3) 地域生活支援、地域福祉保健の拠点としての機能を整備します

さまざまなニーズを聞き取り、地域の拠点としての法人の機能を活かし連携して取り組みました。

◇◆重点施策◆◇

2. 地域福祉の推進を行います

(1) 法人の機能を活かし、地域福祉の充実に努めます

お子様から高齢の方まで、障害のある方もない方も、法人の特性を活かした福祉サービス提供に取り組みました。

(2) 港南区地域福祉保健計画（港南ひまわりプラン）のもと、自分らしく活動できる場を提供します

様々な機関と連携し、幅広い世代の方が福祉保健活動に関わり、活動できるよう場の提供を行いました。

(3) 災害時に協力し合える関係づくりを行います

関係づくりをより一層深められるよう地域へ出向き、地域の取り組みに参加しました。

◇◆重点施策◆◇

3. 人材育成のための環境整備を行います

- (1) 限られた人材で質の高い支援が提供できるよう、職員全体のスキルアップを図ります
専門性を高めるため多様な研修に参加し、職場内で共有しました。
- (2) 職員がいきいきと活躍できる職場環境を整えます
各委員会では職員自ら率先して取り組み、活気ある活動ができました。

◇◆重点施策◆◇

4. 運営基盤の安定に向けた取り組みの推進をします

- (1) 規程・管理体制・マニュアル等の整備を行い、法令順守（コンプライアンス）の徹底を図ります

法令に則り、規程・マニュアル等を随時見直しました。

- (2) 財務管理の徹底を図り、安定した運営に努めます

月次報告会で運営状況を確認し精査しました。予算管理委員会では事業ごとに課題を抽出し、検討を行いました。

- (3) 安心・安全で魅力ある施設を目指します

安心・安全なサービスにつなげられるよう、様々な研修の企画、実施に取り組みました。

◇◆重点施策◆◇

5. 利用者の安心・安全な支援の徹底を図ります

(1) マニュアル等に基づき、安心・安全な支援を提供します

マニュアルは適宜見直し、安心・安全な支援につながるようヒヤリハットの挙げ出しに努めました。

(2) 職員一人ひとりが社会的役割を自覚し、高い倫理観を持って、安心・安全な運営に努めます

法人理念に沿った福祉事業を推進できるよう、委員会活動に力を入れ取り組みました。

(3) 虐待防止規程に沿った取組みを行います

職員一人ひとりが人権意識を高く持ち日々取り組む意識を持てるよう、虐待防止研修を行いました。

各事業より報告

港南中央地域活動ホーム
そよかぜの家

《相談支援事業》 港南区基幹相談支援センター

1. 区内の困難ケースについては、ケア会議や事例検討会等を通して課題を整理します。

《取り組んだこと》

困難ケースについて自立支援協議会の専門部会や定例カンファレンス等で事例検討会を実施した。また、医師会やケアプラザ主催の事例検討会に参画し、8050問題等を検討した。各種の事例検討会等を通して見えてきた地域課題は、3機関を中心に共有し整理した。



《相談支援事業》

港南区基幹相談支援センター

2. 障害者の高齢化問題に対応し、家族や地域、関係機関と連携し、将来への備えを進めていきます。

《取り組んだこと》

地域ケアプラザでの定例カンファレンスに参加し、障害者の高齢化について情報共有を行った。日々の相談についてもケースを通して連携し、双方の理解を深めた。相談支援部会では医師会と共催で事例検討会を行い、介護と障害での制度の違いについて学び合い、それぞれの役割を確認した。

医師会在宅医療相談室との
合同事例検討会



《相談支援事業》 港南区基幹相談支援センター

3. 自立支援協議会の編成を見直し、参加者がそれぞれの立場から課題を持ち寄り、意見交換会ができるよう活性化を図ります。

《取り組んだこと》

自立支援協議会では、部会編成をはじめ各部会活動の意義や役割等を再検討した。

「にも包括（※）部会」では精神障害のある方の地域生活応援冊子「燦燦」を発行する等、各部会ごとに目的に応じた地域課題の解決に取り組んだ。

（※にも包括＝精神障害にも対応した地域包括ケアシステム）



《相談支援事業》

指定特定相談支援事業／障害児相談支援事業

1. 利用者のニーズを把握し、関係機関と連携しながら意思決定支援を進めていきます。

《取り組んだこと》

利用者の状況を丁寧に聞き、関係機関との調整に努めた。多くの機関に直接足を運び、利用者の活動の様子を確認した。近隣区内の事業所で探しても見つからなかった調整困難なサービス（移動支援）について、市域に広げて探したことで遠方の区の事業所が港南区にも拠点を置くなどの新たな流れにつながった。



《相談支援事業》

指定特定相談支援事業／障害児相談支援事業

2. 自立支援協議会の相談支援部会や外部研修等に参加し、個別事例の課題解決やスキルアップに努めます。

《取り組んだこと》

相談支援部会に参加して、他の相談支援事業所の対応や支援の考え方を学んだ。

計画相談単独では難しいケースについては、基幹相談支援センターや他専門機関と連携し支援を行った。



相談支援部会の様子

《相談支援事業》

指定特定相談支援事業／障害児相談支援事業

3. 新規ケースの受け入れについて、状況を見ながら検討していきます。

《取り組んだこと》

下半期は基幹相談支援センターと連携し、必要性の高いケースを中心に毎月1～2件のペースで新規の受け入れを行った。



《相談支援事業》 障害者自立生活アシスタント事業／自立生活援助事業

1. 利用者の意思に基づき、自己決定を促しながら権利擁護の視点に立った支援を行います。

《取り組んだこと》

利用者一人ひとりの特性、強み、課題についての再アセスメントを行った。

その人らしい暮らしとは何かを考え一人暮らしの生活力が向上するようアドバイスした。



買い物同行の様子



《相談支援事業》 障害者自立生活アシスタント事業／自立生活援助事業

2. 自立生活アシスタントの役割・立ち位置を踏まえながら、関係機関と連携したチームアプローチを進めます。

《取り組んだこと》

他機関の自立生活アシスタントと支援の方向性について話し合いをする時間を定期的に設けた。アシスタント一人だけでは気づけなかったアイデアが出て、支援の幅を広げることができた。



《相談支援事業》 障害者自立生活アシスタント事業／自立生活援助事業

3. チラシを活用した啓発活動を行ない、潜在化されたケースの発掘を行います。

《取り組んだこと》

8件の新規ケースの相談があり、その内5件の支援を開始した。新規ケースについては基幹相談支援センターと検討を重ねた。

チラシを活用し、本人や親族等に自立生活アシスタントと自立生活援助の違いについて説明を行った。



《日中活動支援事業》

生活介護事業／地域活動支援センターデイサービス型

1. 各グループの強みを活かし、一人ひとりが充実した活動につながるように支援を行います。

《取り組んだこと》

南台小学校の生徒考案の期間限定パンの作成・販売、魅力ある自主製品作りに取り組んだ。地域に活動を知ってもらうよう、イベントに積極的に参加し、SNSを活用したPRに力を入れた。

利用者それぞれのニーズに合わせて、少人数制の外出プログラムを実施した。



《日中活動支援事業》 生活介護事業／地域活動支援センターデイサービス型

2. 適切な障害福祉サービスの提供を目指し、専門職としてのスキルアップが図れるようOJT教育、外部研修の受講、ミーティングや内部勉強会を実施します。

《取り組んだこと》

安全安心なサービスを提供するため、車いす操作や入浴介助等の内部勉強会、専門講師による研修を行い、積極的に外部研修にも参加した。また、新人職員一人ひとりに教育担当を配置してOJT教育に力を入れた。



《日中活動支援事業》

生活介護事業／地域活動支援センターデイサービス型

3. 法人内の委員会と積極的に連携し、利用者が安心・安全な環境下で活動に参加できる取組を行います。

《取り組んだこと》

各委員会と積極的に連携を図り、委員会主催の研修で得た知識や技術を支援現場に活かした。

特に港南消防署出張型救命講習会、虐待防止研修、避難訓練では、重大事故や虐待防止につながる重要な知識・技術が習得できた。



《生活支援事業》 一時ケア・ショートステイ

1. 利用者の安心と安全が担保されるよう、チームで多角的な視点をもって体制を整え利用受入れを行います。

《取り組んだこと》

障害種別・年齢・利用目的等が多岐に渡り、また緊急利用の相談にも応えるため、情報共有、ヒヤリハット、身体拘束適正化等について意見交換を行い、体制を整え、安全な受入れに努めた。



《生活支援事業》 一時ケア・ショートステイ

2. 緊急ケースの受入れについては、基幹相談支援センターや関係機関と連携を図り、利用者に寄り添った支援に努めます。

《取り組んだこと》

家族や本人を取り巻く状況を把握し、優先度が高いケースから受入れを行った。受入れが厳しい場合は、基幹相談支援センターをはじめとした他の関係機関と連携し、サービスにつながるよう支援した。

2024年度上半期緊急受入れ件数

一時ケア	ショートステイ
49件	10件

《生活支援事業》 一時ケア・ショートステイ

3. 事故防止、虐待防止に努め、外部研修の受講や内部勉強会を実施しスキルアップを図ります。

《取り組んだこと》

安全なサービス提供につながるよう、内部勉強会や外部研修を受講した。例えば、入浴支援の研修では、利用者役、職員役、チェック役に分かれ、一連の流れをロールプレイ形式で学んだ。

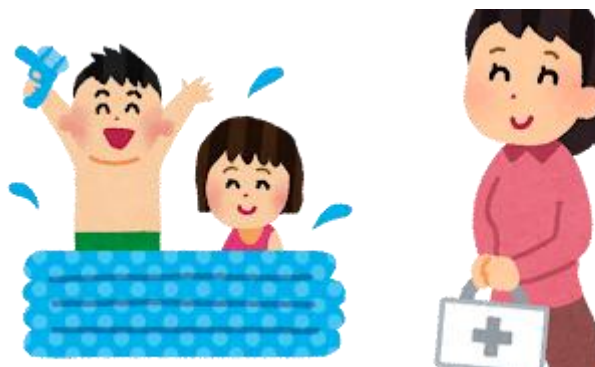


《生活支援事業》 余暇活動支援

1. 利用者のニーズに合わせた活動を企画し、安全に配慮しながら計画的に実施します。

《取り組んだこと》

2024年度は52件の余暇を実施することができた。
医療面で配慮が必要な利用者については、看護師を配置することで安心安全な実施につなげた。



《生活支援事業》 余暇活動支援

2. ボランティアを活用し、利用者と地域の繋がりづくりに努めます。

《取り組んだこと》

成人余暇では、ボランティアとして太極拳の講師の協力を得られた。アルバイトの学生も参加し、利用者との交流や障害理解の啓発につながった。



《生活支援事業》 余暇活動支援

3. 余暇活動を通じて、様々な体験の場を提供します。

《取り組んだこと》

アンケートを行い、利用者のニーズに沿った余暇を企画した。お菓子作り、ピアノ演奏、ヨガ、太極拳、ピクニック等、多彩な余暇を実施し、参加者に様々な体験の場を提供することができた。



《生活支援事業》 おもちゃ文庫

1. 「そよかぜキッズ」では季節ごとの親子工作イベントを開催し、地域との交流を図ります。

《取り組んだこと》

「サマーイベント」「ハロウィンイベント」「ホワイトデーイベント」を開催した。参加した親子が工作作りを通して、日中活動の利用者と交流し、障害理解啓発にもつながった。



《生活支援事業》 おもちゃ文庫

2. 障害児や発達に不安のある子どもとその家族との繋がりを目的に、基幹相談支援センターと連携し「にっこりそよかぜ」を開催します。

《取り組んだこと》

港南区広報誌「ひまわり広場」に開催案内を掲載したことで3月に一組の親子が参加した。手遊びや工作を行った後、ご家族、相談員、支援員との交流を図り、家族が抱える困りごとを聞き取ることができた。



《生活支援事業》 おもちゃ文庫

3. 季節に合わせた室内レイアウトや意見箱を設置し、地域の方に親しみを持ってもらえるおもちゃ文庫を目指します。

《取り組んだこと》

季節に合わせて魅力ある飾りつけを行った。また「ご意見箱」の意見をもとに、塗り絵を再開した。
おもちゃ図書館から寄付されたおもちゃを設置した。



《地域交流事業》

1. 広報「風のおくりもの」を年2回発行します。

《取り組んだこと》

「風のおくりもの44号・45号」を発行した。
今年度から印刷会社を使わずに、地域交流委員会のメンバーがデザインから手掛け、大幅なコストダウンを図ることができた。

2. 近隣5施設合同「そよかぜふれあいまつり」に参画します。また、ひまわりフェスタに参加します。

《取り組んだこと》

6月1日（土）5施設合同「そよかぜふれあいまつり」を開催し、天候にも恵まれて多くの来場者で賑わった。

11月2日（土）子どもゆめワールドに「集まれ、そよかぜの家！」をキャッチフレーズに参加した。

《法人型・区連携事業》

1. 区内で抽出された課題をもとに連続福祉講座を開催し、地域の方の障害理解や支援者のスキルアップに努めます。

《取り組んだこと》

第1回・2回・5回は主に家族、第3回・第4回は当事者を支える方を対象に、全5回連続福祉講座を開催した。参加者からは、新しい視点と学びを得られたと好評だった。講義以外にもグループワークで学びを深め、事業所間の交流を図ることができた。

第1回：7月22日

「障がいのある方の成年後見制度について」

第2回：8月23日

「障がいのある方の将来への備え」
～ライフプランから考えるお金と制度～

第3回：10月17日

「『パーソナリティ障害』理解と対応」

第4回：11月13日

「意思決定支援」

第5回：1月30日

「発達障害の方のライフステージを通じた理解
～小児期から高齢期まで～」



第4回意思決定支援

各事業より報告

グループホーム

「グリーンヒルズ」 「サンフィールドⅠ・Ⅱ」
「フォレスタ」 「セントアベニューⅠ・Ⅱ」

《共同生活援助事業》

1. 利用者の高齢化により心身に変化が生じた場合など、ホームでどのような対応ができるかを検討し、個々に適した生活環境を整えてサービスに繋がります。

《取り組んだこと》

入居者本人のニーズを確認しながら、個々の希望、生活スタイル、性格に合わせ、充実した生活ができるように相談に応じた。月2回の定例ミーティングで、個々の課題について挙げ出し、必要な支援について話し合った。

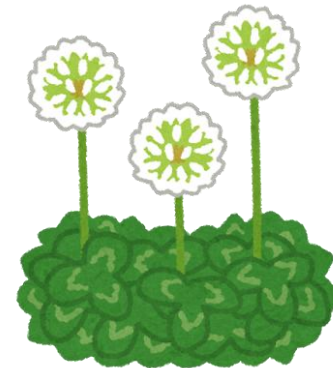


《共同生活援助事業》

2. 利用者、ご家族や関係機関と相談・連携をしながら業務を整理し、安定したサービス提供を継続できるようにします。

《取り組んだこと》

入居者が必要なサービスを利用できるように関係機関につないだ。計画相談のモニタリングやカンファレンスに参加し、生活についての課題や情報の共有をした。
グループホーム連絡会・支援者会、自立支援協議会等の外部会議に可能な限り参加した。



《共同生活援助事業》

3. 救命救急研修をはじめ、内部・外部研修に積極的に参加しスキルアップ向上に努めます。

《取り組んだこと》

救命救急研修を各グループホームで実施した。
個人情報保護研修、感染症対策研修、虐待防止研修の内部研修等に参加した。参加できなかった職員は個別でワークシートを活用した研修を実施した。



各事業より報告

横浜市日野南地域ケアプラザ

《地域包括支援センター》

1. 出張講座や認知症予防事業・包括自主事業を行い、地域の方から必要とされる地域包括支援センターを目指します。

《取り組んだこと》

日野南町内会、日野南地区社協、日野福祉ネットでの各事業を協働で企画することができた。認知症予防事業として、ウォーキング講座や南部病院の出張講座を実施した。包括自主事業では「きらきらライフ」を今年度も計6回実施することができた。



11月きらきらライフ<絵手紙>

《地域包括支援センター》

2. 各種研修に積極的に参加し職員のスキルアップに努め、三職種で連携し、相談者のニーズに沿った機関やサービスに繋げていきます。

《取り組んだこと》

地域包括支援センター職員研修、認知症、ヤングケアラー、フレイル予防、疾患別の対応、権利擁護に関する専門的な研修や地域福祉保健計画に関する研修に参加した。研修の内容は三職種で共有した。

研修



《地域包括支援センター》

3. 今年度はチームオレンジに参画し、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりに努めます。

《取り組んだこと》

区域の学校や地域での集まり（すみれ会・日野南ささえあい連絡会・日野筋トレすまいる）で認知症サポーター養成講座を実施した。認知症カフェを毎月実施し、12月・1月・3月はイベントを企画した。



日野南小学校



《地域活動・交流事業》

1. 誰もが自分の住む地域で安心して暮らせるよう、関係機関や様々な社会資源と連携して、課題解決に向けた地域ネットワークの構築・拡大に努めます。

《取り組んだこと》

障がいのある方と地域をつなぐ「つながり事業」で、当事者の地域防災拠点訓練参加を支援したことで、地域活動の参加や防災ワークショップの取り組みに発展できた。日野地区社協と障害福祉事業所による連絡会を支援した。港南区および港南台子育て連絡会に参加し、子育て環境の充実に向けて支援者と共に講座の企画等に取り組んだ。

日野南小 地域防災拠点訓練



《地域活動・交流事業》

2. 幅広い世代が福祉・保健活動に関わり、生きがい、やりがいを感じながら地域活動の担い手として活躍できるよう支援します。

《取り組んだこと》

暮らしや健康に役立つ講座、趣味やボランティア活動につながる講座を開催し、外出や仲間づくりの機会を提供した。講座で学んだことを活かしてボランティア活動に発展させることができた。



《地域活動・交流事業》

3. 第4期地域福祉保健計画の進捗状況を振り返りながら、第5期地域福祉保健計画の策定に向けて、地域住民、関係機関との情報共有、意見交換から把握した地域の現状、課題をもとに、進めていきます。

《取り組んだこと》

区役所、区社協と連携して担当地区の意見交換会開催を支援し、地域の課題解決に向けた話し合いや第4期地域福祉保健計画の振り返りを行った。

防災や地域づくりに関心をもてる土壌づくりに取り組んだ。

ひのまちめぐり・ウォークラリー



《生活支援体制整備事業》

1. 地域に積極的に出向いて、情報やニーズの把握に努め、関係機関と共有・連携しながら地域が主体となって取り組む活動を支援します。

《取り組んだこと》

地域で行われる活動や会合に積極的に参加し、地域の状況やニーズを把握して気軽に相談していただける関係づくりに努めた。

また、地域貢献に意欲的な事業者やボランティアと地域の活動で必要とされている人材をつないだ。



《生活支援体制整備事業》

2. 高齢者の方々が生きがいを感じながら安心して暮らし続けられるように、交流や見守りに着目した協議の場をつくります。

《取り組んだこと》

地域の福祉ネットワークの取り組みや介護予防・生活支援サービス事業（サービスB）の振り返りを行った。見守り協力事業者訪問から、地域で行われる見守り支えあいの状況を把握し、必要な情報を発信共有した。



南の家とりハビリデイサービスnagomi



ジャンプと三春情報センター

《生活支援体制整備事業》

3. 地域の店舗や事業所、企業と連携し、地域のニーズに沿った社会貢献ができるように橋渡しをします。

《取り組んだこと》

介護事業所連絡会を開催し、地域の事業所同士が情報共有する場づくり、地域と介護事業所がお互いに助け合える関係づくりの支援を行った。



介護事業所で送迎のお手伝い

《居宅介護支援事業》

1. フォーマルなサービスと社会資源を活用し、利用者の要望に寄り添った的確なサービスを目指します。

《取り組んだこと》

介護サービスは、制度的に出来ないことがあるが、そこで諦めるのではなく、地域活動やボランティア、近隣住民等の社会資源の協力を得て、出来る限り利用者の希望を叶えられるようにした。

認知症予防に興味の将棋や囲碁をやりたい。また、体を動かす機会が欲しい。

地域活動

庭の草が伸び放題になっている、話し相手が欲しい、一緒に買い物に行ってくれる人が欲しい…など。

有償ボランティア

ゴミ捨てにきたいが、足が悪く、何度も転倒しているので怖い。独居なので行ってくれる人もいない。

ゴミ出し（ふれあい収集）

体調を崩してしまい、買い物も料理も出来なくなりました。

宅配弁当

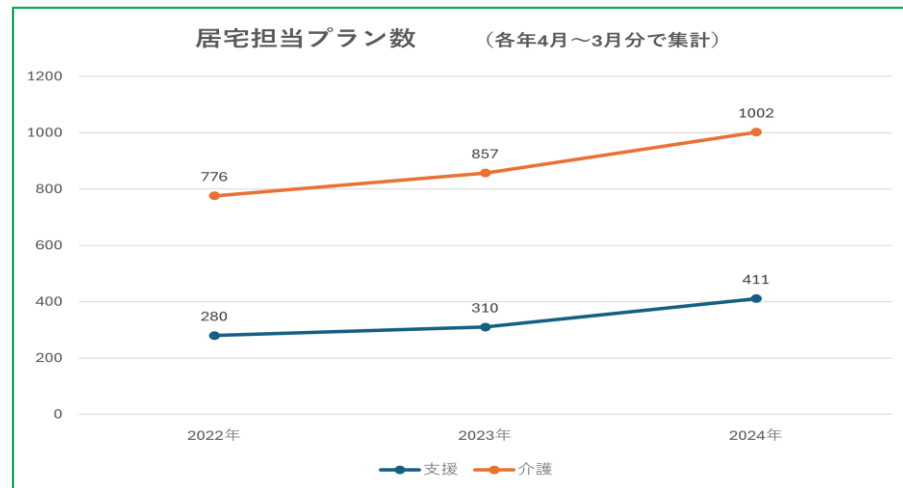
《居宅介護支援事業》

2. プラン実績数を増やし、収入アップに努めます。

《取り組んだこと》

高齢者数が増加に伴い相談件数も増えている。また、相談内容も複雑かつ急を要するため、すぐの対応が必要なケースが多くなっている。利用者・家族が不安にならないよう、聞き取りやサービス導入等の対応を適時に行えるよう、スタッフを増やしより多くの相談にのれるようにした。

2022年度～2024年度
プラン数

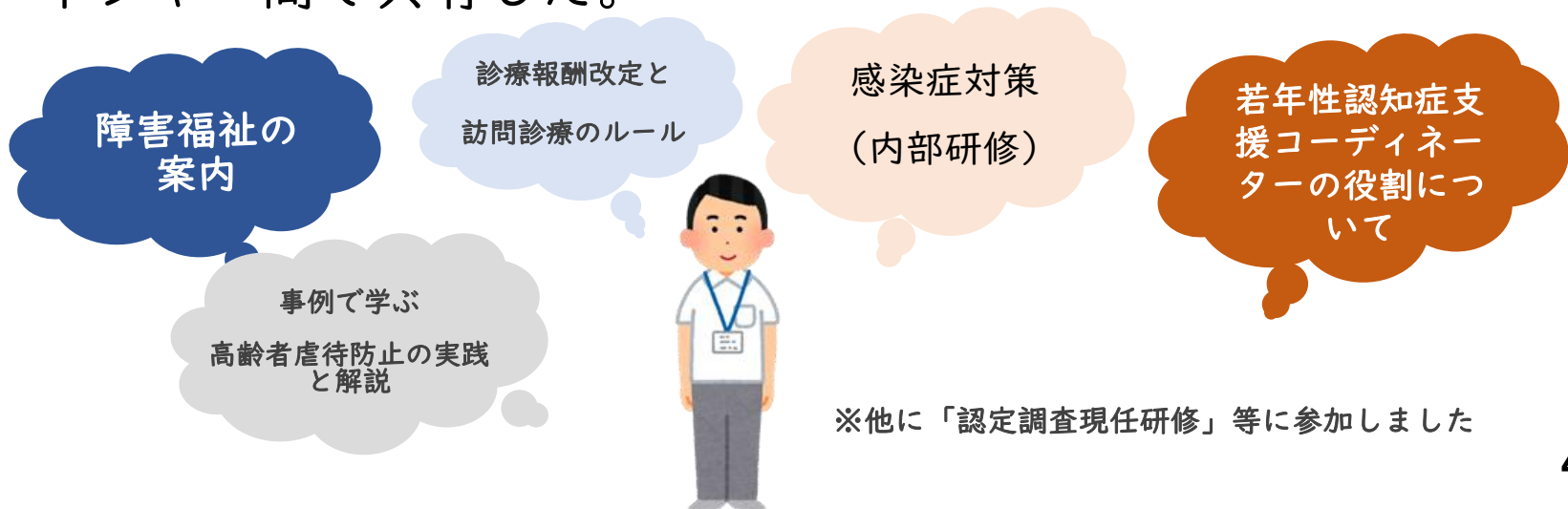


《居宅介護支援事業》

3. 各種研修への積極的な参加や内部勉強会、事例検討会等を開催し、各関係者との情報共有や各自のスキルアップに努め、利用者の多様なニーズに対応できるよう努力します。

《取り組んだこと》

多種多様な相談に素早く対応できるように、介護や医療等の新しい情報を研修で学んだ。また、研修で培った内容をケアマネジャー間で共有した。



各事業より報告

そよかぜ南の家

《日中活動支援事業》 生活介護事業・就労継続支援B型事業

1. 積極的に研修に参加して専門性を高め、関係機関と連携しながら、利用者家族の悩み・課題の解決を図ります。

《取り組んだこと》

虐待防止研修では多くの職員が参加し、自己チェックシートを用いて日ごろの支援を振り返った。グループワークで意見交換し、各々が抱えている課題の共有やチーム力の向上につながった。



《日中活動支援事業》 生活介護事業・就労継続支援B型事業

2. 地域の中にある障害者施設として、障害理解の促進に努め、地域と協力・支え合える関係作りを行います。

《取り組んだこと》

見守り協力事業者訪問、ボッチャ交流会や地域イベントでの販売等に参加し、地域と交流することができた。小学校の「ベルマークの回収・仕分けの手伝い」を始めた。そよかぜ南の家を知っていただき、利用者の作業も充実し、PTAの方にも喜んでもらえた。



地域合同お楽しみ会(1/11)



港南台地区センター祭り(2/24)

《日中活動支援事業》 生活介護事業・就労継続支援B型事業

3. 利用者のニーズを把握し、定期的なミーティングやケア会議を行い、充実した活動を提供します。

《取り組んだこと》

ミーティングで課題を共有し、利用者支援に活かした。新たにサービスを利用する方が安定した通所ができるよう、関係機関と連携を図った。年末に「お楽しみ会」を企画したいと利用者自治会より声が挙がり、利用者主体で実施することができた。



各事業より報告

キララそよかぜ

《キララそよかせ》 生活介護事業

1. 利用者の意思を尊重し、強みを活かした計画作成を行い意欲的な活動に繋がります。

《取り組んだこと》

利用者の特性に合わせた環境を設定し活動を行った。
利用者が自ら選択し、希望する活動に参加できるようにした。
関係機関とのカンファレンスで、家庭や並行利用先について情報交換をし、支援に反映させた。



《キララそよかせ》 生活介護事業

2. 安心・安全な活動を行うため、権利擁護や障害者支援の内部研修を行い、スキルアップに努めます。

《取り組んだこと》

磯子消防署による普通救命救急講習を実施した。食べ物を喉に詰まらせてしまった際の対処法の講義を受け、背面叩打法と心肺蘇生法の流れを学習した。

内部研修では、虐待防止研修、個人情報保護研修、感染症対策研修等を行った。



《キララそよかぜ》 生活介護事業

3. 災害時に共助の関係が保てるよう、地域の防災訓練に参加します。

《取り組んだこと》

避難訓練では、歩行が困難な利用者の避難方法を確認した。
地域防災訓練に参加はできなかったが、町内会の集まりに参加し
地域の方との関係づくりに努めた。



各事業より報告

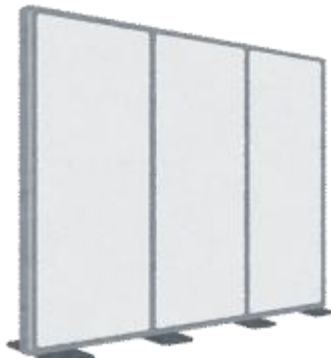
あ～すそよかぜ

《あ～すそよかぜ》 生活介護事業

1. 利用者の障害特性に配慮した環境設定を行ない、本人の意思決定を尊重してサービスを提供します。

《取り組んだこと》

本人の希望や特性を思慮して活動を行った。
個別の対応を求められるケースにおいて、利用者の特性に配慮した環境設定をしたことで、集中して作業を行えるようになった。



《あ～すそよかぜ》 生活介護事業

2. 職員研修を積極的に行い、支援に必要な知識・技術を習得するよう努めます。

《取り組んだこと》

港南消防署出張型救命講習会を行った。避難訓練、虐待防止研修等を行い、事故や虐待の防止に必要な知識・技術の習得と意見交換による意識の向上を図った。



《あ～すそよかぜ》 生活介護事業

3. よりよい支援のために、地域の関係機関と連携強化を図ります。

《取り組んだこと》

花壇の手入れ作業や見守り協力事業者訪問等を通じて、港南スポーツセンターと関わりを深めることができた。
空き缶回収に協力してくれた地域の店舗との関わりができた。
あ～すで収穫した野菜を近隣のお宅に届けるなど交流することができた。



各事業より報告

後見的支援室 すまいる港南

《横浜市障害者後見的支援事業》

1. 登録者やご家族に寄り添い、定期的な面談・訪問を通して暮らしを見守ります。

《取り組んだこと》

面談を重ねて積み上げた基本情報を支援計画書の振り返り等に活用することができた。

当初の情報と違っていること等を含めて更新し、グループホーム入居等、将来に向けての準備に協力することができた。



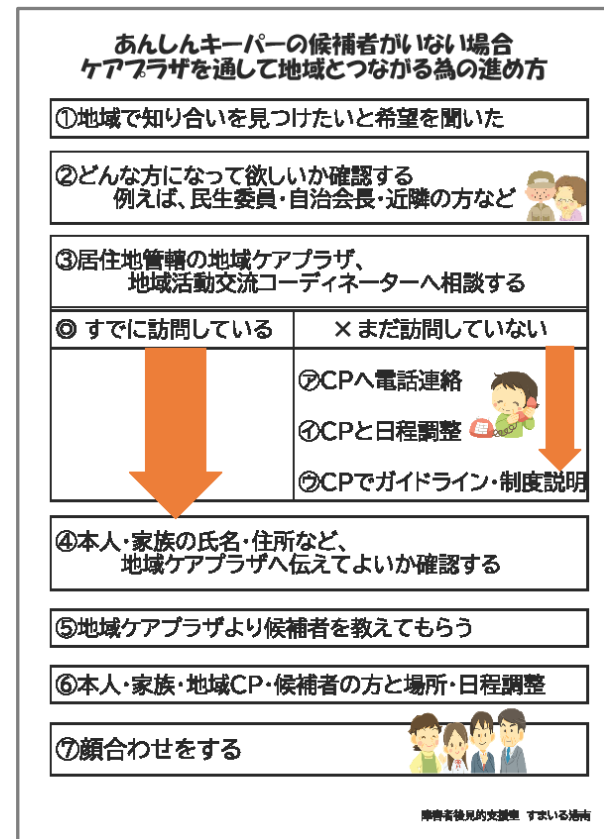
《横浜市障害者後見的支援事業》

2. 地域の方や関係機関と連携し、日常生活をゆるやかに見守るあんしんキーパーの協力促進に向けて働きかけます。

《取り組んだこと》

今年度は2か所の地域ケアプラザ（下永谷・上永谷駅前）の職員に向けて制度説明を行い、連携強化に取り組むことができた。

「地域とつながる為の進め方」を作成し、誰もが見てわかるようにした。



《横浜市障害者後見的支援事業》

3. あんしんマネジャー、担当職員、あんしんサポーター、あんしんキーパーの強みを活かしながら連携によるチーム支援を行います。

《取り組んだこと》

役割を超えてチームで取り組むことを意識し、職員同士「遠慮しないで声に出す」という目標を掲げて連携の取れた支援を行うことができた。



各事業より報告

新規事業準備室

《新規事業準備室》

1. 金沢区柴町に男性館（定員5名）・女性館（定員5名）のグループホームを3月に開所予定。

《取り組んだこと》

「ブランファールそよかぜ」が3月31日に開所した。入居者の公募を4月から始め、選定を行う。ホームページや折り込みチラシ、求人広告サイトによる職員募集を行った。

